

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第 513 号
令和 6 年 10 月 30 日発行

子供たちが自ら豊かな人生を切り拓くために ～今年度研究について～

研究主任 住吉 泰斉

「子供の確かな学びを育む授業づくり」をテーマにした研究は今年度で3年目を迎えました。国語の学習であれば他者と思いや考えをより良く伝え合うこと、数学であれば物事を数や形として捉え、筋道立てて考えることなど、それぞれの教科において育成を目指す資質・能力を「子供の確かな学び」と捉えてその育成を目指した授業づくりに取り組んでいます。この各教科の資質・能力が確かに育成されることで、子供たちの世界に広がりや深まりが生じ、現在及び将来の生活の中で自身の可能性を最大限に発揮しながら豊かな人生を切り拓いていくことができると考えます。

では、「子供の確かな学び」はどのようにして育むことができるのでしょうか？教師が「このように伝えましょう」「 $1 + 1 = 2$ です」などと教えるだけではおそらく学びは得られないでしょう。子供たち自身が「伝えたい」「どうしてそうなるの？」などと学習に対して関心を持ち、主体的に取り組むことが必要です。

そこで、3年次である今年度は、各教科の学習に対して子供たちが関心を持って学び続けることに重点を置き、授業づくりを進めています。教科の内容について「なぜ？どういうことだ？」と問いを持ったり、「〇〇できるように成りたい(から学ぶ)」というように自分なりの学ぶ目的を持ったりすることで、子供たちは主体的に学ぶことができます。また、学習の結果から「そういうことか！」と分かったことを明確に捉えたり、「こうしたらできた！」と自身の取組に手応えを感じたりすることで、次の学習にも主体的に取り組んでいくことができます。このようなサイクルを意識しながら、子供自身が主体となって学び続ける授業を各学部で実践しています。

子供たちが自ら豊かな人生を切り拓くためにも、本研究の取組を推進して参ります。保護者の皆様におかれましては、引き続き、当校の研究活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、1学期に行った授業実践についてご紹介いたしますので、ぜひご覧ください。

小学部 生活科

「おまつりに行ってたのしもう！」

学校近くの祭りに行ったり、屋台で買い物をしたりすることを通して地域行事への参加について学ぶ授業です。



校外学習では、ずらりと並ぶ祭り屋台の様子を見詰めて、実際に屋台でほしい物を買ったりするなど、祭りという地域行事に関心を持つ姿が見られました。校内に用意した模擬屋台では、品物をよく見たり、本物のソースやシロップなどを味わったりして、「またお祭りに行きたいな」と楽しさを伝える姿が見られました。

小学部 生活科

「きって のせて チン！」

調理器具の安全な扱い方が分かり、調理器具を使った手伝いに進んで取り組むことを目標とした授業です。



教師が行うピザトースト作りの手伝いをする活動を行いました。教師が困っている姿を見せ、手伝いを依頼すると、「お手伝いするよ！」や「いいよ！」と元気に応え、包丁やトースターなどの調理器具を安全に扱いながら、「切る」「塗る」「載せる」「焼く」の手伝いに取り組みました。困っている教師をニコニコにするための「お手伝い」に主体的に取り組む姿が見られました。

中学部 数学科

「三角と四角でかたちアート」

色板を操作して形を組み合わせながら、三角と四角の形の特徴を捉えることを目指した授業です。



2種類の大きさの正方形と直角二等辺三角形を組み合わせて、魚や猫、家などを作る「かたちアート」の活動に取り組みました。「これを作りたい」と次々と作りたい形を作ったり、「三角と三角ががちゃんこ」と自分で使用した図形を言葉で確認したりしながら、形の特徴を生かして組み合わせた「かたちアート」を作ることができました。

中学部 数学科

「三角形や四角形でスタンドグラスを作ろう」

図形の構成要素に着目し、三角形や四角形を平面に敷き詰めることを目指した授業です。



直角三角形や正方形、長方形などの図形の特徴を生かし、それらを綺麗に敷き詰めてスタンドグラスを作る活動をしました。「どこを合わせると隙間なく敷き詰められるか」を考えながら、型番の角の部分に図形の直角部分を合わせたり、辺の長さを確認しながら同じ長さの辺と辺を合わせたりして、隙間のないスタンドグラスを作ることができました。

高等部 国語科

「相手に伝わるように書こう」

自分が経験したことやそのときに思ったことなどを詳しく伝えることができるような文を書くことを目指した授業です。



昨年度の担任に向けて、体育祭の手紙を書いたり、職場実習の報告会の発表原稿を書いたりする活動を行いました。生徒たちは「体育祭や実習の内容を詳しく伝えることができる文を書くためにはどうしたらよいだろう?」という思いを持ち、「だれが」「どうした」「くわしく」などの書くポイントを取り入れながら、手紙や発表原稿を書く姿が見られました。

高等部 国語科

「相手や目的を意識して文章を書こう」

相手や目的を意識して伝えたいことを明確にしながら文章を書く姿を目指した授業です。



就職活動を想定し、採用されるために、熱意や自分の良さを伝える履歴書の志望動機を書く活動を行いました。実際に自分が志望している企業等に向けて自分なりの考えや経験を踏まえて具体的に志望動機を書こうとする姿が見られました。また、書く際には、手書きをする、タブレットで整理してからタイピングで入力するなど、より良い取組方を考えながら学習に取り組む姿が見られました。

先月の学校便りでご紹介した通級指導部でも研究を進めています。当教室に通う子供たちが在籍校の学習に自信をもって取り組めるように、自分に合う学習方法を試行錯誤しながら見付けていく授業づくりに取り組んでいます。

一人一人の困り感や得意とする情報処理の仕方等を踏まえて課題解決の方法を提案し、一緒に試しながら手応えを確認していきます。「この方法でやったら音読が速くなった/テストが良い点だった」など、通級での学習を通して自分の苦手だったことに対して少しずつ持つ姿が見られるようになってきています。



12月6日(金) 第46回特別支援教育研究会 概要

当日、一般参加者に対しては代表学級・グループのみ授業公開をしますが、保護者の方は代表学級・グループ以外の授業もご覧いただけます。当校保護者の方につきましては、お申込みは不要です。参加の希望につきましては、連絡帳を通じて担任までお知らせください。研究内の内容は、本日配付の研究会二次案内をご覧ください。

【登校から下校までの当日の日程】

小・中学部 通常登校 ⇒ 9:15~10:00 授業 ⇒ 10:15 下校
高等部 10:30 登校 ⇒ 11:00~11:50 授業 ⇒ 12:00 下校 となります。よろしくお願いいたします。